



記入日	西暦 2020 年 10 月 20 日 (2020 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	呉工業高等専門学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	③
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	宮原中学校 Zoom によるオンライン防災授業 (呉高専から中学校の教室にリアルタイム配信, 3D マップ製作あり)
実践担当者のお名前	河村進一, 学生 3 人

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から <u>該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す</u>	3 万円未満 3D マップ部品作成 (5 千円程度×2 か所) 大判地図の印刷用紙・インク代など (数千円)
実践の準備にかかった時間 期間ではなく合計時間を書いてください 例: 月に 1 度, 1 時間程度 3 回集まった→3 時間→数時間 <u>該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す</u>	数日 授業内容の打ち合わせ 2 時間 地図作成など 12 時間 パワーポイント資料作成 10 時間 3D マップ製作キットの運搬・担任教諭への製作指導 2 時間 後日フォローアップ 3 時間
実践活動を実施した日時 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください	西暦 2020 年 8 月 26 日 13:30~15:30
実践の所要時間 期間ではなく合計時間を書いてください。 例: 2 時間×2 日 = 4 時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	5 人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 <u>該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)</u>	中学生
防災教育の対象者の人数	約 4 5 人
実践を行った都道府県と市区町村	広島県 呉市
実践を行った具体的な場所 例: ○○小学校体育館	呉市立宮原中学校 教室
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	Zoom 送信側 PC 1 台 + 書画カメラ



	受信側 iPad3 台 ひろしま マイ・タイムライン
--	-------------------------------

達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	ハザードマップで学校周辺の土砂災害警戒区域を確認した後、3D マップを製作して立体的な地形を見ることにより、地形と土砂災害の危険性について認識し、登下校時の避難行動や学校の防災計画を考えるうえでの参考にする。	
どの力を身につけようとしたか？ 該当しないものを削除し該当するものを1つ残す	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	かなり
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	事前学習：広島県一斉防災教室教材「一般用」を配布し、わが家の避難マップを事前に描いて提出してもらう。 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/249/isseikyoushitsu.html 当日、パワーポイントによる講義「地形模型で考える地域の防災」宮原中学校 3D ハザードマップとマイ・タイムライン 広島県一斉防災教室教材沿った内容のパワーポイントを作成 知る①危ない場所を知る！ 察知する②雨の降り方に注意する！！ 行動する③避難する！！ について講義しました。 その後、Zoom を使って、3D マップの製作をオンラインで指導しました。事前に中学校周辺の3D マップ製作キットを送付し、中学校では事前に製作方法を指導しておいた担当教諭に指導を行うとともに、呉高専でも同じ 3D マップ製作キットを使い、書画カメラを用いた呉高専学生による部品の組み立て実演や疑問点に遠隔で解説することができました。	





	最後に、ひろしま マイ・タイムラインの作成における 3D マップの活用について解説して授業を終了しました。	
得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	Zoom によるオンライン指導で 3D マップ製作に挑戦しました。講義形式の防災授業だけでなく、呉高専の講義室から学生が 3D マップを製作する様子を小型書画カメラを使って配信し実演指導する授業スタイルを確立しました。	
どのくらい身につきましたか？ 該当しないものを削除し該当するものを残す	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦労・工夫 やってみたい新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	やや多めの人数だったこともあり、教室内の特に 3D マップ製作中の生徒の様子が分かりづらく、うまくできているかどうか判断が難しかったです。担当の先生がたまたま地理の先生で、3D マップ製作方法を短時間で理解してくれていたのが助かりました。 3D マップ製作マニュアルをわかりやすく修正してのぞんだつもりでしたが、正しくできていたのは全体の 3 分の 1 ぐらいの範囲で、オンラインでの工作指導の難しさを感じました。直感的にわかりやすい製作方法や紙のマニュアルではなく繰り返し閲覧できる動画マニュアルがあると良いのではないかと意見が実演担当の学生からありました。	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
1 つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
1 つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	
伝えたい内容	

ここまで、実践したプランの数だけ記入する内容です